

「ヤコブの葬儀」

創世記 49章33~50章14節

わたしには、まだ、

死ぬという仕事がある

三浦綾子

1922～1999



三浦光世
Mitsuru Mitsuyo

死ぬという 大切な仕事

三浦綾子40周年! (『水点』入選より)

最期の仕事まで
支え続けた夫・光世。感動のエッセイ集!

最新刊

光文社文庫 創刊20周年
読者のプレゼントフェア 第1弾

神のみことばをあなたがたに話した

指導者たちのことを、思い出しなさい。

彼らの生活の結末をよく見て

その信仰にならいなさい。

へブル―3章7節

50章前半 アウトライン

- I. ヨセフの悲しみ
- II. 葬儀の準備
- III. ヤコブへの敬意

1. ヨセフの悲しみ

ヤコブは

息子たちに命じ終えると

足を床の中に入れ、息絶えて

自分の民に加えられた。

ヨセフは、父の顔の上に崩れ落ちて

父のそばで泣き、父に別れの口づけをした。

49章33～50章1節

：・サラの生涯

サラが生きた年数は、百二十七年であった。

サラは、カナンの地のキルヤテ・アルバすなわち、ヘブロンで死んだ。

アブラハムは来て

サラのために、悼み、悲しみ、泣いた。

アブラハムは、その亡き人のそばから立ち上がりヒッタイト人たちに話した。

「私は、あなたがたのところ^に在住している
寄留者^{です}が

あなたがたのところ^で私有の墓地を
私に譲^{って}いただきたい。

そうすれば、死んだ者を私のところ^{から}移して
葬^ることができます。」

なんじの兄弟の死は

真心を尽くして、主に仕えさせんがため
なんじを召すラツパの響きと、心得よ。

Ⅱ. 葬儀の準備

ヨセフは、自分のしもべである医者たちに

父をミイラにするように命じたので

医者たちは、イスラエルをミイラにした。

そのために、40日を要した。

ミイラにするのには、これだけの日数が
必要であった。

エジプトは、彼のために、70日間、泣き悲しんだ。

準備1. 遺体の処置（ミイラ化）

準備2. 70日間の服喪

準備3. 王の許可

遺体の処置（ミイラ化）

遺体防腐処理は、古代エジプトの慣習

脳・内臓を取り除き、亜麻布・樹脂を詰める

王は、亜麻布で巻かれ、ミイラにされた

防腐処理には、およそ40日間、要した

70日間の服喪

エジプトでは、王が死ぬと、72日間、喪に服した

王と区別するため、70日間 とされたと推測される

ヤコブは、エジプト王と同様に
人々に尊敬されていたと推測される

喪の期間が明けたとき、

ヨセフは、ファラオの家の者たちに告げた。

「もし私の願いを聞いてもらえるなら

どうか、ファラオに、こう伝えてください。

父は、私に誓わせて、こう申しました。

『私は間もなく死ぬ。』

私が、カナンの地に掘った私の墓の中に
そこに、私を葬らなければならぬ。』

どうか今、父を葬りに上って行かせてください。

私はまた帰って参ります、と。」

ファラオは、言った。

「おまえの父が、おまえに誓わせたとおり

上って行って、おまえの父を葬りなさい。」

それで、ヨセフは、父を葬るために上って行った。

Ⅲ. ヤコブへの敬意

葬儀参列者

彼とともに

ファラオのすべての家臣たち

ファラオの家の長老たち

エジプトの国のすべての長老たち

ヨセフの家族全員

彼の兄弟たちとその一族

が、上って行った……。

また、戦車と騎兵も彼とともに上って行ったので

その一団は、非常に大きなものであった。

彼とともに

ファラオのすべての家臣たち

ファラオの家の長老たち

エジプトの国のすべての長老たち

ヨセフの家族全員

彼の兄弟たちとその一族

が、上って行った……。

また、戦車と騎兵も彼とともに上って行ったので

その一団は、非常に大きなものであった。

彼とともに

ファラオのすべての家臣たち

ファラオの家の長老たち

エジプトの国のすべての長老たち

ヨセフの家族全員

彼の兄弟たちとその一族

が、上って行った……。

また、**戦車と騎兵**も彼とともに上って行ったので

その一団は、非常に大きなものであった。

彼とともに

ファラオのすべての家臣たち

ファラオの家の長老たち

エジプトの国のすべての長老たち

ヨセフの家族全員

彼の兄弟たちとその一族

が、上って行った……。

また、戦車と騎兵も彼とともに上って行ったので

その一団は、非常に大きなものであった。



埋葬地

遺言通り、マクペラの墓地に埋葬

エジプトからカナンの地へ大移動

∴ 彼らは、ヨルダンの川向こう

ゴレン・ハ・アタデ（場所不詳）に着いて

そこで、たいへん立派で荘厳な哀悼の式を行った。

ヨセフは、父のため7日間、葬儀を行った。

ヤコブの葬列 移動行程

およそ **380 km**

ヘブロン

アバリス

Nile River Delta to Hebron about 200 miles (380 km)



70日 服喪期間

30日 エジプト～カナン往復

10日 カナン滞在

およそ 100日間以上

埋葬者

12人の息子が、ヤコブを埋葬した

ヤコブの息子たちは
父が命じたとおりに父に行った。

息子たちは、彼をカナンの地に運び
マクペラの畑地の洞穴に葬った。

それはマムレに面していて
アブラハムが私有の墓地にしようと
ヒツタイト人エフロンから畑地とともに
買ったものである。

アブラハムの埋葬者

アブラハムは、幸せな晩年を過ごし、年老いて満ち足り、息絶えて死んだ（175歳）
そして自分の民に加えられた。

その息子、**イサク**と**イシュマエル**は
アブラハムを、マムレに面するマクペラの洞穴に葬った。

25章 8〜9節

イサクの埋葬者

イサクの生涯は、180年であった。
イサクは年老いて満ち足り、息絶えて死に
自分の民に加えられた。

息子の**エサウ**と**ヤコブ**が、彼を葬った。

35章 28〜29節

ヤコブの死・葬儀は

ヤコブ自身の信仰の告白であった

信仰によって

彼は、約束された地に、他国人のようにして住み
同じ約束をとともに受け継ぐ

イサクやヤコブと**天幕生活**をしました。

(中略)

これらの人たちはみな、信仰の人として死にました。
約束のものを手に入れることはありませんでした
がはるか遠くにそれを見て喜び迎え

地上では

**旅人であり、寄留者であることを
告白していました。**

へブル―一章9〜13節

信仰によって

ヤコブは死ぬときに

ヨセフの息子たちをそれぞれ祝福し

また、自分の杖の上に寄りかかって礼拝しました。

ヘブル一章2節

ヤコブの死・葬儀により

神は栄光をお受けになった

…彼らは、ヨルダンの川向こう

ゴレン・ハ・アタデに着いて

そこで、たいへん立派で荘厳な哀悼の式を行った。
ヨセフは、父のため7日間、葬儀を行った。

その地の住民のカナン人は

ゴレン・ハ・アタデの、この葬儀を見て

「これはエジプトの荘厳な葬儀だ」と言った。

それゆえ

その場所の名は、アベル・ミツライムと呼ばれた……。

あなたが生まれたとき
あなたは、泣いていて
周りの人達は、笑っていたでしょう。

だから

いつかあなたが死ぬとき
あなたが、笑っていて
周りの人たちが、泣いている

そんな人生を送りなさい。

アメリカ先住民口伝